

総胆汁酸		468000		
		担当部署		
TBA		生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		血清中の胆汁酸濃度は食後上昇することが知られているので、採血時間に注意。 負荷を行わない場合は、早朝空腹時の採血が望ましい。		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 他材料	10 青	分離剤	8	mL
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		

測定時間	当日中～翌日					
生物学的基準範囲	10 μ mol/l 以下 アクアオートカイノス TBA 試薬添付文書					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	μ mol/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	10	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	<p>胆汁酸は肝細胞において、コレステロールから生成され、胆汁を経て腸管内に排泄される。</p> <p>その大部分は腸管より再吸収され門脈を通り肝臓に達する極めて閉鎖的な腸肝循環を行っている。</p> <p>このため胆汁酸が大循環に漏出する量は極めて少なく、正常者における血清胆汁酸濃度は 10 μ mol/L 以下である。</p> <p>胆汁酸濃度は主として腸管からの吸収と肝細胞における除去能により影響される。</p> <p>肝外胆管の閉塞や肝ない胆汁うっ滞で胆汁排泄が滞ると血中胆汁酸濃度は増加する。</p> <p>また、消化管からの胆汁酸吸収が正常な場合は血清胆汁酸濃度は肝機能を鋭敏に反映する。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 68</p>					